

高梁川水系 河川整備計画

Takahashi River
Improvement Project

高梁川ニューズレター

高梁川水系河川整備計画に関する会議の状況や河川整備計画の策定状況などの情報をお伝えします。

「第4回 明日の高梁川を語る会」開催のお知らせ

平成22年5月25日(火) 開催

国土交通省中国地方整備局では、平成19年8月に策定された「高梁川水系河川整備基本方針」を受け、今後概ね30年間の具体的な河川整備の内容を示す「高梁川水系河川整備計画(国管理区間)」の検討を進めてきました。この度、河川整備計画の目標や整備内容についてとりまとめた「高梁川水系河川整備計画(原案)【国管理区間】」を作成いたしました。

今回開催いたします「明日の高梁川を語る会」では、この原案についてご説明し、学識経験者の方々のご意見をお伺いする予定です。

具体的な協議事項は以下のとおりです。

- ①スケジュールについて
- ②高梁川水系河川整備計画(原案)【国管理区間】について
- ③整備計画(原案)に対する住民意見聴取資料について



第4回「明日の高梁川を語る会」



日時:平成22年5月25日(火)

10:00~12:00

場所:倉敷市芸文館 別館 (2階202会議室)
倉敷市中央1-18-1

電話:086-434-0400

JR倉敷駅から、

①徒歩で約15分

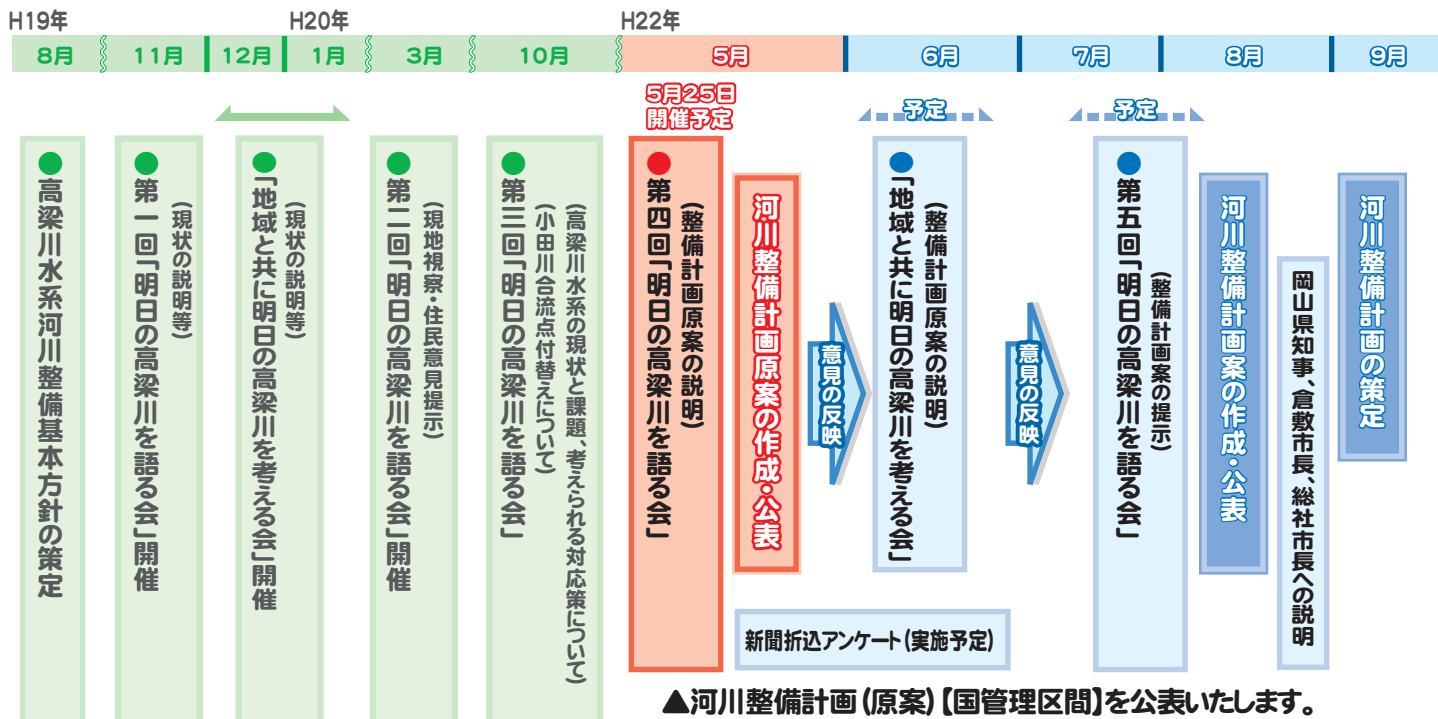
②市役所・吉岡方面行バス

(倉敷駅南口バス乗場3・4番)で「中央2丁目」下車すぐ

③タクシーで約5分

※事前の申込みは不要です。当日、直接会場にお越し下さい。30分前から受付を開始します。

高梁川水系河川整備計画の策定に向けたスケジュール



第3回「明日の高梁川を語る会」を開催しました。

「第3回明日の高梁川を語る会」(平成21年10月16日開催)では、小田川の付替えに関する比較案の報告、河川整備計画の現状と課題および考えられる対応策についての検討結果を報告し、学識経験者の方々と協議しました。その結果を主な意見として以下に示します。

主なご意見の紹介

小田川の付替え事業について



学識者からのご意見

柳井原貯水池はもとは河川であったことを考えると、貯水池活用案が自然かなと思います。小田川と高梁川を締め切る背割堤はどの程度の強度をもっているのですか。

笠井堰の取水形態はどのようになりますか。

貯水池活用案が環境への影響が最も小さいと考えます。農地への影響も小さくする工夫について教えてください。



河川管理者の対応

背割堤の十分な検討は行っていないが今後、調査・測量設計を行い安全な堤防を考えていきます。

付け替えにより、小田川の水が笠井堰に到達なくなり、取水に影響が出てくると考えますが、下流での取水施設を考えるなどにより対応可能です。

貯水池の川幅は200mとし、200mより広い区間は埋め戻します。土砂で埋め戻した土地は河川区域としては必要ない土地であるため、地元の方々の意見を反映できるように相談して対応したいと考えています。

高梁川水系の現状と課題、考えられる対応策について

酒津地点で河道がカーブしていますが、堤防で守るしかないのでしょうか。

付け替え後の貯水池区間の川の姿はどのようなイメージになりますか。

堤防で守っていくしかありませんが、堤防を安全にしていくことは当然です。小田川を付け替えて酒津の水位を下げることは、堤防の安全度を高めることになります。

具体的な絵までは作成していませんが、通常は流水が少ないと考えられるため、魚類の遡上が可能ないように、対策が必要だと考えています。



第3回明日の高梁川を語る会開催状況



【問い合わせ先】

国土交通省中国地方整備局 岡山河川事務所 高梁川みらいプロジェクト

〒700-0914 岡山市北区鹿田町2丁目4番36号 TEL (086)223-5101(代表) FAX (086)222-7835

URL <http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/>